



都市環境デザイン会議版

美しい都市ランキング・プレ発表

美しい都市ランキング評価委員会
都市環境デザイン会議関東ブロック



美しい都市ランキングの趣旨、狙い

- ・全国の都市・まち（ないしさと）を「美しい」ということから評価するとどのようになるか検討し、公表する。このことによって、各都市が美しい都市（さと）づくりに関心をもち、都市・地域計画づくりに際しあるいは、都市、農村整備事業においての要点をより容易に理解できるようにする。またこの活動を通じ、都市環境デザイン会議をPRする。

「都市」と「まち、さと」の二本立て。極力、客観評価

- ・ 都市単位で評価する「都市ランキング」、集落等の単位で評価する「まち、さとランキング」の二本立てとします。今年は「都市ランキング」を先行させます。
- ・ できるだけ客観的な評価指標を整理し、配点のイメージを共有した上で、評価点を入れ、合計点で評価します。

今期において、本格的な評価作業を実施します。

- ・ 関東ブロックにおいて約1年議論を続けた後、今年の4月に「美しい都市ランキング評価委員会」を立ち上げ、評価項目、考え方の案を概ねまとめました。
- ・ 本日、プレ評価結果を公表したいと思います。
- ・ 今期において、本格的な第1回評価を行います。
- ・ その後、経年的に評価、公表を続け、各都市の努力などがランキングの上昇につながるようにしていきたいと考えています。

全国500都市を当面の目標。

- ・ 対象とする都市は人口20万人以上都市は全て、5万人以上20万人以上都市は概観調査で外せないと判断した都市の全て（概ね全数の1 / 3程度）、および5万人以下できわめて特徴的な市・町としています。

「都市」ランキングは、市域全体を評価対象

2001年時点の市町村を評価単位



- いろいろ議論しましたが、「都市」ランキングは、市域全体を評価対象とします。
- 市域が広く、要素の多い都市は、ポイントが積み上がり有利となりますが、それも都市の景観面での売りとして良いものと考えました。
- この度の市町村合併は、都市の姿を分からなくしていきます。このランキングは当面、2001年時点の市町村を評価単位とします。

プレ・ランキングの概要

- ・ 評価委員会より、全国ブロックに協力を要請。
- ・ 評価委員会には会員より数名の自発的参加者を得た。
- ・ その他、出身地であるなど、知人や各事務所スタッフ等にも依頼してプレ評価を実施。
- ・ 北海道から沖縄までの75都市を評価。評価に関わった人数は、46名。
- ・ 220点の評価表で、平均点103、最高点170、最低点33であった。

プレ・ランキングの結果

- ・ 上位 1 / 3 にランキングされた都市

松本、金沢、国立、盛岡、那覇、小樽、
高岡、飯田、遠野、富山、新潟、小松、
池田、広島、古河、帯広、佐倉、横浜、
仙台、綾部、佐久、箕面、鶴岡、佐野、
足利

プレ・ランキングの結果

・ 中位 1 / 3 にランキングされた都市

旭川、大津、秩父、富良野、桑名、
日立、つくば、世田谷、川越、武蔵野、
静岡、米沢、栃木、山形、江東、名護、
稲城、長野、府中、桐生、稚内、北見、
札幌、登別、高崎

本ランキングに向けて

- ・ プレランキングは、殆どが経験、知識に基づく判断であるが、本ランキングは現地取材、現地情報収集を踏まえて行いたいと考えています。
- ・ 本ランキングでは、評価者を複数とする他、ブロック間の調整会議を行うことで、評価者によるバラ付きを補正していきます。

美しい都市を増やすことが目的

- ・ ランキングは、上下を付け楽しむことが目的ではなく、
美しい都市を増やすための運動です。

